

新しい日常におけるユネスコ活動の活性化に向けて



2022年3月11日(金)
第150回日本ユネスコ国内委員会総会

次世代ユネスコ国内委員会
細谷優希、長澤パティ明寿

次世代の考えるユネスコ活動の強み

- I. 国や地域、言語、文化、世代を超えた、多様な視点をもつ市民が、ユネスコの一つの理念のもとにつながる
- II. 文化・教育・自然科学といった分野から当事者意識を持ち、草の根のアプローチで参画できる
- III. 国の文化や情勢に興味及び当事者意識を持つことで、世界全体の協働を促進できる

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

Since wars begin in the minds of men,

it is in the minds of men that the defenses of peace must be constructed.

(ユネスコ憲章前文)

提言 1 対話型ワークショップの実践 (主に大学生を対象とした対話型ワークショップの実施)

1. 背景・課題

- 地域の文化や社会に根差した全国的な活動基盤の存在とユネスコ活動における官民連携の重要性
- 国内の文化対話・国際交流事業は、教育現場の一部に限る
- 対話・多様性に対する寛容な姿勢が育まれにくい傾向
- ESDにおける文化対話・国際交流事業を促進し「機会の格差」を減らす重要性

2. アクションプラン

- ”他者との対話におけるアプローチ・手段を学ぶことができるトレーニングワークショップ”をESDの一環として実施
- 対話・国際交流の機会、同世代間のつながりの構築、日本のユネスコ活動と国内外の関係団体・個人との連携強化

3. 期待される効果

- 対話・多様性を尊重し、多くの人が生きやすいと感じる持続可能な地域・市民社会の形成
- ユースがSDGsなど地球規模の目標を自分の地域の文脈で理解
- 日本と各国との長期的な友好関係強化・安定化
- 事業開発の段階で民間NGOやユネスコの各関連団体との間での連携強化

提言 2

ユネスコエコパーク及びユネスコ世界ジオパークへのユースの積極的な参画

1. 背景・課題

- ユース世代にとって文化関連事業に比べ、自然関連の登録事業の馴染みがなく遠い存在になっている
- 登録地域にはユース世代の人口が少ない傾向があり、ユースの参画は人材不足改善と地域活性化に貢献できる
- 登録事業は持続可能な開発のための教育に優れたフィールドであり、グローバルな課題を認識し活動できる

2. アクションプラン

- 各登録地域でのユースアンバサダーの任命
- 登録地域におけるユースの学術研究フィールドワークの推進

3. 期待される効果

- 地域の文化や産業について学び、継続的に登録事業地との関わりを持ち続ける
- SNSを通じ登録地域の魅力や科学的特徴をわかりやすく発信
- 若者を呼び込みたい登録地域と、ユネスコ活動に参加したい学生を結びつける
- 自然や文化の重要性を認識し、共同体に受け入れられることで居場所を得る
- 多様なステークホルダーの協働による登録地域の発展



unesco



unesco

Global Geopark

提言 3

「ユネスコ創造都市ネットワーク」事業へのユースの積極的な参画

1. 背景・課題

- 「ユネスコ創造都市ネットワーク」事業の発展（国内加盟都市は10都市に）
- 創造都市事業は加盟都市において地域の文化・芸術活動の持続的発展を後押しするだけでなく、国際交流・異文化交流・異文化間対話（地域間対話）を深める役割も果たし得ると認識
- 創造都市に対する認知度の低さ、他のユネスコ事業との連携の希薄さ、国内における加盟都市間ネットワークの不足→一般市民（特にユース世代）による文化・芸術関連事業への参加を十分に後押しできていない現状
- 新型コロナウイルス感染症の拡大→文化・芸術関連産業への大きな影響、ユース世代が文化に触れる機会やユース自身が文化活動を行う機会の減少

2. アクションプラン

- 創造都市事業と他のユネスコ事業（特にユネスコスクール）との連携促進
- ユース世代を対象とした「ユネスコ創造都市ユースサミット（仮称）」の開催

3. 期待される効果

- ユース世代が創造都市事業の多様な魅力や関わり方を知る（創造都市の認知度向上）
- 都市間の相互理解の深化、自らが暮らす地域への理解の深化
- 創造都市事業に参画するモチベーションの向上
- 都市間連携の可能性が生まれる



Creative Cities
Network

提言 4

「ユネスコ未来共創プラットフォーム」へのユースの参画

1. 背景・課題

- ユース世代のユネスコの具体的な活動内容への関心・認知度の低さ
- 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」に対するユースの認知度も限定的
- ユネスコ関係団体とユースがつながる機会、ユネスコ活動を行う全国のユースが集い交流・連携する機会の希薄さ

2. アクションプラン

- ユースによるユネスコ関連組織と、ユースからのコンタクトを歓迎する団体リストの作成と周知
- 「ユネスコ未来共創プラットフォーム」上にユース専用ページ「ユースページ（仮称）」を設置
- 「次世代ユネスコユースフォーラム」の実施

3. 期待される効果

- ユースの主体的な参加及びユネスコ活動に参画するユースコミュニティの拡大
- アクションへの動機付け、ユネスコ活動におけるチャレンジ精神を醸成
- 当事者意識を生み出し、継続してESDを実践する機会を提供
- ユースのユネスコ活動の可視化、類似した目的を持った事業間での交流や連携の強化、課題解決の促進
- 長期的なESDやユネスコ活動の認知度向上にも寄与、持続可能な社会を担うより多くの人材を輩出



終わりに

- 70年にわたり連綿と受け継がれてきたユネスコ活動の歴史に想いを巡らせながら、次世代を担うユースが主体となり持続可能な未来へ向けてユネスコ活動の活性化を図っていく決意
- 長きに渡る新型コロナウイルスのパンデミックや国家間対立の緊迫化という複雑かつ先の見通せない世界
- 今、「人と人とのつながりの保持への挑戦」にあたり、相互理解の関係を「対話」によって育むことを目指すユネスコとその活動の重要性を再認識している
- ユースが主体性を発揮し「活動の実践者に、ユネスコ活動とは認知されていないユネスコに関わる活動」をユネスコというプラットフォームを利用して実施してもらうことの出来る仕組みと発信が急務と考える
- 本提言の実践にあたり横断的に活動を実行する組織の重要性・必要性

ご静聴ありがとうございました。

「次世代ユネスコ国内委員会」として活動する大変有意義な機会をいただきました日本ユネスコ国内委員会および文部科学省職員の皆様、また本提言の作成にあたり資料のご提供やご助言など多大なるご協力をいただきました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

※本資料の画像はユネスコHP、日本ユネスコ国内委員会HP、ユネスコ未来共創プラットフォームHPより引用しております。

Youth Conference for UNESCO

-Act for the future-



日本ユネスコ国内委員会では、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の優先分野に基づく取組として、初となるユースのための会議を開催いたします。

我が国では、2021年のユネスコ加盟70周年を機に、若者の声を国内外のユネスコ活動に反映させるべく、昨年10月に「次世代ユネスコ国内委員会」を発足させました。この委員会のメンバーは、国内外の次世代が主体的・継続的に関わることでできるユネスコ活動について、若者の視点から議論を重ね、このたびアクションプラン案をまとめました。

今回の会議では、国内外の若者がこのアクションプランをより発展させ、実行に移すための議論を行います。

開催概要

日程	2022年3月15日(火) 17:00-19:30
配信	YouTubeによるオンライン配信
言語	英語 / 日本語(同時通訳付)
主催	日本ユネスコ国内委員会
テーマ	with/after コロナ禍においてユース主導で展開されるユネスコ活動 (UNESCO activities to be expanded led by Youth with and after COVID-19)

プログラム

17:00	8:00	日本語	7:00	標準時間 (GMT)
1. 開会挨拶				
2. 来賓挨拶				
3. 次世代ユネスコ国内委員会による 提案 1) プレゼンテーション(20分) 2) 質疑応答およびディスカッション(30分)				
4. 各国ユース代表およびユネスコユースフォーラム発表者によるプレゼンテーション 1) プレゼンテーション(各国3分) 2) 質疑応答およびディスカッション(60分)				
5. 閉会挨拶				

当会議の情報をご希望の方は、下記ウェブサイトから登録してください。
<https://youth-conference-for-unesco.jp/registration/>



- 当会議への参加は事前登録が必要です。事前登録をしていない場合、会議を視聴することはできません。
- 提供された個人情報(登録情報)は事務局において適切に管理します。当会議の運営以外の目的で利用することはありません。
- ご登録後に自動送信メールが届かない時は、下記の窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ先: youth-conference-for-unesco@ec-intl.co.jp

*本時間表および各タイムテーブルの印刷/状況によって変わる可能性があります。